

2022年8月25日

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号: 2315 東証スタンダード)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
Tel 03-5657-3000 (代表)

Skeb Coinに関するお知らせ

2022年6月10日付「カイカエクスチェンジ、IEO 実施検討に向けた3社間覚書締結のお知らせ」にて開示しました、当社子会社の株式会社カイカエクスチェンジ(暗号資産交換所 Zaif 運営会社/代表取締役社長:鈴木伸、以下「カイカエクスチェンジ」)において、イニシャル・エクスチェンジ・オフリング(IEO) 実施を検討している Skeb Coin (スケブコイン) について、Skeb Coin の Twitter 公式アカウントよりオフリングに関して発表されています。

詳しくは以下をご確認ください。

■ Twitter

https://twitter.com/skeb_coin/status/1562424549022793736?cxt=HHwWkIDUja227K4rAAAA

(外部サイトに遷移いたします。)

<https://skebcoin.com/>

カイカエクスチェンジでは、引き続き「Skeb Coin」の Zaif での取り扱いに向けて準備を進めてまいります。

取り扱いに関する詳細については、決定次第、別途ご案内いたします。

<Skeb とは>

国内外から日本のクリエイターに対して、イラストや音声、映像等を有償でリクエストすることができるコミッションサービスです。100以上の言語に対応した自動翻訳機能と越境決済機能によって、利用者の約30%が海外からとなっています。

株式会社スケブによれば※、6.8%~という業界最安値の手数料と最短即日入金報酬サイクルが特徴で、昨今の情勢の変化により、新たな収入源を求めるクリエイターの登録が急増し、登録者数220万人以上、クリエイター登録者数11万人以上、月間取引高4億円以上と2022年7月現在、国内最大級のコミッションサービスとなっています。

※2022年7月22日 株式会社スケブ調べ

<Skeb Coin (スケブコイン) とは>

多くのクリエイターは、「表現の自由」が最も重要な価値と考えていると思われます。

海外プラットフォームによる表現の規制が問題となっている昨今、2021年2月大手クレジット会社から複数の出版社に対して、商品の表題に「〇〇殺人事件」等の特定の表現がある商品では、クレジット決済が取り扱えなくなる旨の通知があった事実が発覚し、表現の規制について参議院議員により問題提起が行われました。

こうした中、新たな決済手段としてのブロックチェーンに注目したのが Skeb Coin です。既存の SNS 上でクリエイターへ投げ銭が可能となる新サービス（現在開発中）での利用や、Zaif Payment での決済可能資産に Skeb Coin を追加するなど、Skeb をはじめとした国内の EC サイトでの決済に利用できるユーティリティトークンとして Skeb Coin が発行される予定です。

今後、Skeb 利用者へのエアドロップの実施なども検討されております。

※本件は、特定の暗号資産を推奨する目的で提供する情報ではありません。暗号資産相場は他の金融商品などに比べ高い変動率が特徴です。急激な価格変動が生じる可能性もございますので、暗号資産のお取引に際してはご注意ください。

※暗号資産を利用する際は、下記サイトを熟読のうえ、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

https://zaif.jp/doc_registered_merchant

【本件に関するお問い合わせ先】

会社名：株式会社カイカエクスチェンジ（暗号資産交換所 Zaif 運営）

代表者：代表取締役社長 鈴木 伸

所在地：東京都港区南青山五丁目 11 番 9 号

URL（サービスサイト）：<https://zaif.jp/>

URL（会社概要）：<https://corp.zaif.jp/outline/>